



苗の植え方を教わる小学生



前沢区 大曲の水辺を花いっぱい 地元団体と小学生が花の苗を植栽

大曲の水辺に夢をつくらう会（戸田幸夫会長）は5月29日、白山地内の北上川右岸にある大曲の水辺公園で花の苗を植栽しました。

植栽には会員25人と白山小学校の1年生から4年生までの児童51人が参加。∞（無限大）をイメージした花壇などに、サルビアやペゴニア、マリーゴールドなど約1000本を、バランス良く植えていきました。4年生の鈴木杏奈さんは「きれいに咲くのが楽しみ。みんなで見に来てほしい」と話していました。

胆沢区 初夏の胆沢路をバスで満喫 観光地めぐりバスツアー

観光地めぐりバスツアー「どんとこい奥州号」は5月5日、市内外から19人が参加し行われました。

このツアーは「いわてデスティネーションキャンペーン」に合わせて、本市の魅力を発信しようと市が企画したもの。あいにくの雨でしたが、参加者は車窓から国道397号の桜の回廊を眺めたり、胆沢ダム展望台や徳水園などを見学して楽しみました。ダムを一望できる展望台では、ボランティアガイドからダムの構造について説明があり、熱心に聞き入っていました。

説明を聞きながら建造中の胆沢ダムを眺める参加者たち



江刺区 宝くじで蔵まちを盛り上げ えさしジャンボ宝くじ始まる

蔵町モール周辺店舗で組織する「結プロダクツ」（菅原真一郎代表、加盟25店舗）は5月1日、ドリームチャンスえさしジャンボ宝くじを始めました。

この企画は、商店街の活性化とにぎわい創出を目的に初めて行われるもの。ことし10月末までに加盟店でくじが進呈され、11月4日に抽選会を行います。進呈条件は店によって異なり、一定額以上の利用のほか店主の気分次第という店も。菅原代表は「当たる確立は高いので、ぜひ蔵まちに来て」と話していました。



宝くじを宣伝する加盟店店員



針金で作った輪でシャボン遊び

水沢区 みんなで楽しむこどもの日 第39回水沢ちびっ子まつり

水沢ちびっ子まつり（同実行委員会主催・那須川昭皓会長）が5月5日、水沢体育館前広場で開催され、約600人の子どもがさまざまな遊びを満喫しました。

子どもたちの健やかな成長を願い、毎年こどもの日に開催されている同まつり。会場にはこまや竹とんぼなどの昔ながらの遊びのほか、ペットボトルの水ロケット、シャボン玉などたくさんのコーナーが設けられました。子どもたちは、歓声をあげながら思い思いに遊びを楽しんでいました。



水沢区 リンゴの花に囲まれ演奏会 杉ノ堂りんごの花まつり



みんなの手拍子で盛り上がったりんご園コンサート

杉ノ堂農事実行組合（佐々木敦志組合長）が主催する「杉ノ堂りんごの花まつり」が5月13日、杉ノ堂地区のりんご園で開かれ、付近の住民らが演奏会や散策を楽しみました。

このイベントは、りんご園に親しみを持ってほしいと、りんご農家と近隣の住民らの交流の場として企画されたもの。演奏会では、満開を迎えたりんご園を背に、地元東水沢中学校の吹奏楽部が「上を向いて歩こう」や校歌などを演奏。来場者らは手拍子をして演奏を楽しみました。

祖母と妹と来場した三宅真愛ちゃん（8）は「りんごの花のある中で、いろんな楽器でたくさんの曲を聴けて良かった」と満足そうに話していました。

江刺区 夏山シーズンの安全を祈願 阿原山高原山開き

江刺区伊手と一関市大東町にまたがる阿原山の山開きが5月27日、山頂付近で行われました。

市内山開きのトップを飾るこのイベント。例年にない晴天の下で神事が行われ、夏山シーズンの無事と震災復興が祈願されました。新緑の中で郷土芸能や25歳年祝連の踊りが披露され、大勢の家族連れが眺めのよい景色とともに楽しんでいました。岩谷堂から来た菅原活治さんご夫婦は「レンゲツツジを見たくて10年ぶりに来た。天気が良くて良かった」と語りました。

高原に響き渡った阿原山太鼓



丁寧に植え直しをする生徒たち

衣川区 仙台の中学生が田植え体験 衣川でグリーンツーリズム体験

仙台市立中野中学校（川村英一校長、生徒635人）の2年生による田植え体験が5月17日、衣川区愛宕下地内の水田で行われました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、全員がはだしで田んぼへ入り、手植えを体験。最後まで植え直しをしていた沖田玲奈さんと新沼さくらさんは「足が泥に取られ大変だった」「奥州市の田んぼは広いですね」と話していました。受け入れたサンホテル衣川荘では、秋に収穫した米を同校へ送ることにしています。